

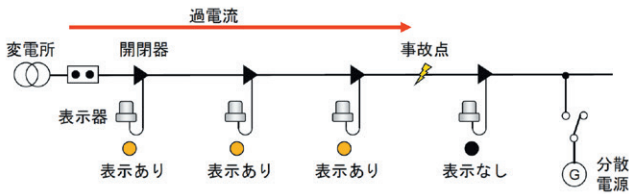
事故区間表示器 (逆潮流対応型)

製品紹介

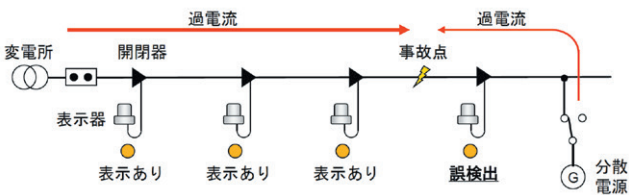
市川 貴洋
Takahiro Ichikawa

1 概要

本製品は、事故区間表示機能付高圧気中開閉器と組み合わせて配電線路において発生する地絡・過電流事故を検出・表示し、事故発生区間の標定を行うものである。



分散型電源の系統連系により、1フィードの電力供給元が変電所のみではなくなった場合、従来製品の過電流レベルだけによる事故検出では、分散型電源からの逆潮流による過電流で誤検出することが考えられる。



このため過電流検出に事故方向の判別が必要となった。

2 特長

- ・事故検出機能
従来の地絡検出に加え、過電流検出においても事故方向の判別を行い、負荷側事故を検出可能とした。
- ・設定機能
スイッチによる事故検出感度の整定値や停電有無条件の設定機能に変電所方向を設定する機能を追加した。
- ・ログ収集機能
各動作・設定履歴を保存し、読み出し可能とした。



○本製品の仕様は、東北電力株式会社と株式会社三英社製作所との共同開発により制定されたものである。

市川 貴洋

電力機器事業本部
配電機器製造部 システム機器設計グループ 所属